

市民に寄り添う市政の実現!!

ごあいさつ

平素より皆様には市政各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この夏の大雨により本市は甚大な被害を受けました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、災害復旧、被災者支援にお力添え賜りましたボランティアの皆様、消防団の皆様、御寄付いただいた皆様をはじめ多くの皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

引き続き、復旧に向け全力を傾注して参る所存であります。

人口減少など本市の課題は山積していますが、未来を見据えながら、そして市民ニーズを的確に捉え、何に手を差し伸べなければならないかをつかみ、必要な対策を切れ目なく講じていく必要があります。

そのためにも、「市民に寄り添う」この基本姿勢を崩さず、市民の皆様からのお声をしっかりとお預かりしながら、職員と一緒にまちづくりに邁進して参る所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



篠田洋司プロフィール

昭和38年11月 美祢市伊佐町生まれ
山口県立大嶺高等学校、京都産業大学経営学部を卒業
昭和63年4月 美祢市役所入庁
平成20年3月 美祢市立病院事務長
平成25年4月 市長統合戦略局長
平成27年6月 美祢市副市長就任
令和2年4月 美祢市長就任

(その他の経歴)

全国市長会評議員
日本ジオパークネットワーク理事
美祢市野球連盟顧問
全日本軟式野球連盟公認審判員
(元) 大嶺小学校PTA会長

しのだ洋司後援会会長の河村達丸でございます。
後援会の皆様には、平素から格別のご支援をいただき、心から感謝申し上げます。
六月末から七月にかけての大雨により被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。
篠田洋司さんは、被災直後から被災された方への訪問や被災現場の確認、国や県への支援要請など、昼夜を問わず動かれました。復旧工事がこれから本格的に始まると思いますが、被災された皆様の日常が早く取り戻せますよう、そして、市民の皆様が安心して暮らせる環境づくりに引き続き奮闘されますことを願っています。私たち後援会は、支援の輪をさらに広げ、篠田洋司さんの活動を支えていきたいと考えています。皆様のさらなるご理解とご支援を心からお願ひ申し上げます。



河村達丸

後援会長あいさつ

災害復旧に全力で取り組んでいます！

● 被災状況の確認

被災直後から市内全域を確認するとともに、可能な限り住民の方から話を伺いました。



● 国・県への支援要請！



村岡 山口県知事による被災状況確認



国土交通省・テックフォースへ支援要請



村岡知事とJR美祢線の復旧要請



斎藤国土交通大臣に対する復旧支援要望

6月29日から7月1日にかけての大雨により、市内において、家屋被害が399棟、河川・道路・橋梁被害が123カ所、農林関係被害が約1300件発生しました。市では、住宅再建支援経費も含め、災害復旧費を約34億円と見込み、復旧に向け取り組んでいます。

また、県においては、厚狭川の河川整備を約60億円と試算され、部分的に工事が始まっています。

確実に工事が進み、住民の皆さんが安心してお暮しできるために、全力で取り組みます！

JR美祢線の復旧については、「鉄道は全国をつなぐネットワーク」であり、被災を機に廃線はあり得ません。

知事と一緒に、また全国市長会を通して、国土交通省、JRに対して粘り強く交渉して参ります。



林大臣（当時）にも駆け付けていただきました。

約束実現に走りました！

● 市役所新本庁の規模削減！



新本庁舎が完成し、令和5年11月6日にオープニングセレモニーを挙行了しました。新本庁舎はオープンフロアーにし、より分かりやすく、より丁寧なサービスを提供したいと考えています。

また、次世代に重い負担にならないようにすべきとの判断から、新本庁舎規模を当初計画よりも1/3程度縮小しました。これにより、約10億円の事業費削減となります。

● 美東・秋芳総合支所建て替えに着手！



現在の美東総合支所

美東・秋芳総合支所建設につきましては、令和5年11月に事業者との契約が完了し、工事が始まります。

両総合支所の完成時期は財政負担の平準化と市内業者の発注機会確保の観点から、1年6ヶ月程度延ばすことになりました。ご理解いただくために、美東地域及び秋芳地域で住民説明会を開催しましたが、美東・秋芳地域の皆様にはご迷惑をおかけしました。

両総合支所は、市民活動の場である多目的ホールを当初計画より広げ、また、新たに子育て相談機能や児童クラブのスペースを確保するようにしています。

● 地域公共交通の充実！



新たに導入したジオバス

住民の利便性向上のため、ジオタクエリアを大幅に拡大しました。また、廃止された路線バスの代わりに新たにジオバスを導入し、集落近くまでのバス運行が可能になりました。

令和5年10月からは高齢者の外出支援策として、市内発着の路線バスを100円で利用できる制度を創りました。

中学生以下の児童・生徒は、あんもないと号を無料で乗車できるようにしております。

● Mine未来トークの開催！



住民の皆様の意見を市政に反映させるため、「Mine未来トーク」と題してご意見をお聞きしております。

市内13公民館で、地域活動団体や個人の方から様々なご意見やご提案をいただき、回答させていただいております。

● 硬度低減化した水を秋芳南部地域へ！



配水池築造工事

長年懸案だった硬度を下げた水を、令和6年春には秋芳南部（秋吉・岩永地区）へ提供できます。

● 市長報酬を削減

公約だった市長報酬を2割削減しました。コロナ禍で疲弊した地域経済の状況、市役所庁舎建設など多大な費用が見込まれる中、市民生活を守るための財源を確保する必要があります。

そのためには、市民生活に影響のない経費削減が求められます。まずは、自らの報酬を削減する首長の姿勢が重要であると判断しました。

様々な課題の対応に走りました！

● 新型コロナウイルス感染症対策



市長就任後、専門部会、対策会議を設置しました。
地元医師会や医療従事者をはじめ多くの皆さんの協力に感謝しております。
コロナ関連予算は、臨時特別給付金を含め、4年間で54億円計上し、ワクチン接種費用や事業者・生活者支援策に充てました。

● ウンカ被害に対する支援を実施！



令和2年度はトビイロウンカ被害が甚大であったことから、県下でもいち早く支援策を打ち出し、水稻作付（飼料米等も含む）全農業者に対し、10aあたり2,500円を支援しました。
結果、1,277人（法人含む）に総額 約4千万円を補助しました。

● 教育環境の充実

* 慶応義塾大学との連携・協力協定



他市に先駆けて児童生徒1人1台のタブレットを整備しました。



教育は大きく変わろうとしています。慶応義塾大学と包括連携協定を締結し、大学の先生・学生の皆さんが市内学校を訪問し、指導を頂いております。

● 防災・減災対策



市の管理河川について、大幅に予算を増額し、浚渫を加速的に進めてきました。（R1 282千円→R5 57,000千円）
しかし、大規模な災害が発生したことから、財源確保を国に要望しながら、浚渫を継続的に行ってまいります。

● 子育て支援策の充実

- ・ 出産祝金、就学祝金の制度創設
- ・ 保育料を大幅に軽減（第一子保育料を半額など）
- ・ 保育副食費の無償化
- ・ 中学生までの医療費無償化

● 新図書館建設に向けて



住民のご意見を反映させるために座談会を開催し、新たな図書館建設の準備に入っています。

● 美祿市のPR



日本ジオパーク理事として、国へ支援要請、NHKへ放映要請を行いました。「プラタモリ」で秋吉台が放映されました。



* Jちゃんやまぐち出演



* KBCラジオ出演